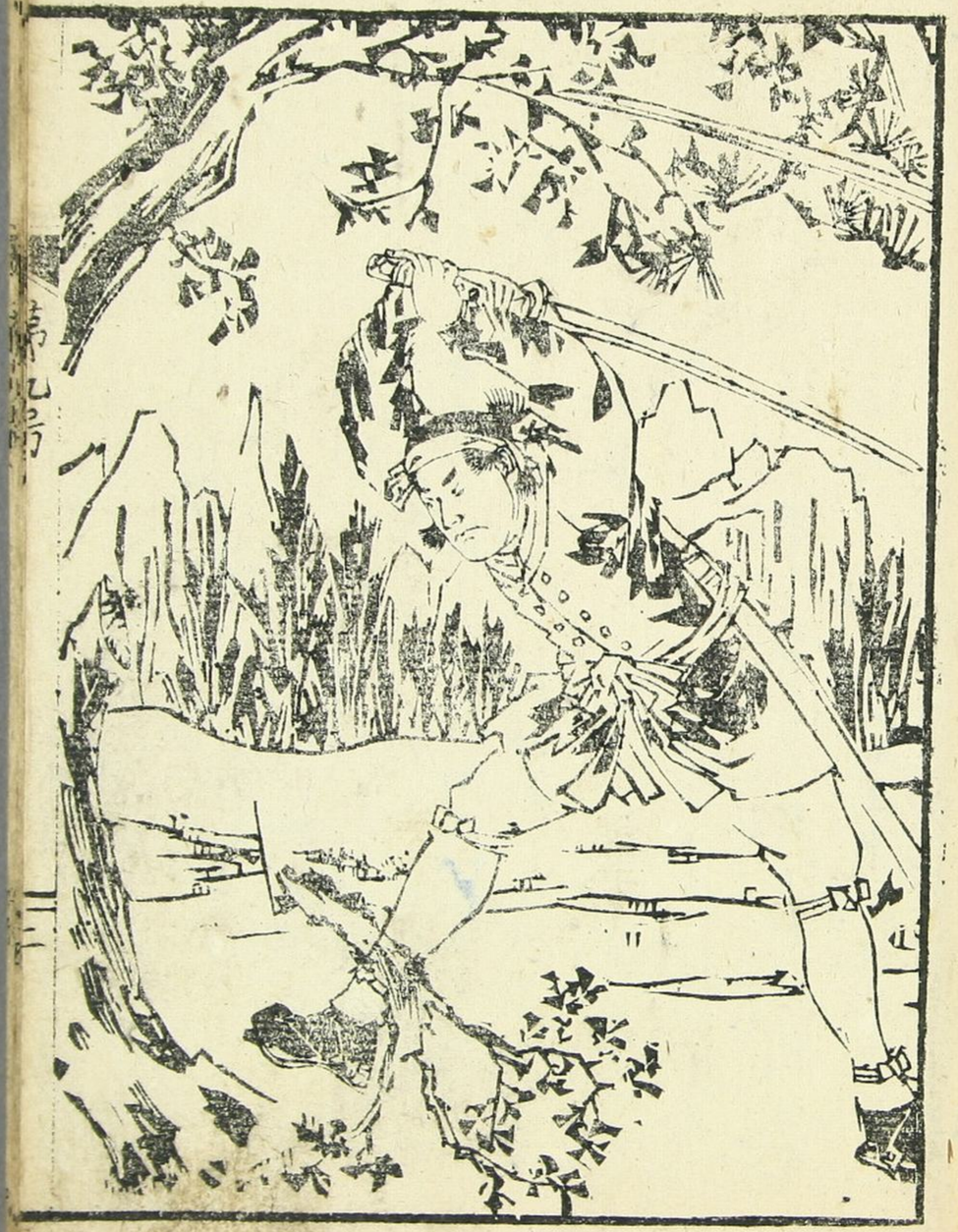
日清戦争記
第六号

人倫の道ハ天に逆ふ者ハ亡ぶ順路に寄まし
て盛ん西郷隆盛ら　王政復古御一新
以来　勤王の名を四方に裏らし乳汁の
子兒まで其名を知らざるなし　可惜
一心の驕慢したるゆゑ名もなき兵端を開
き逆賊の汚名を四隅へ流し萬人の命を
傷ひ苦しむる事何の謂ぞや上智も下愚
も均しと云

村井静馬述

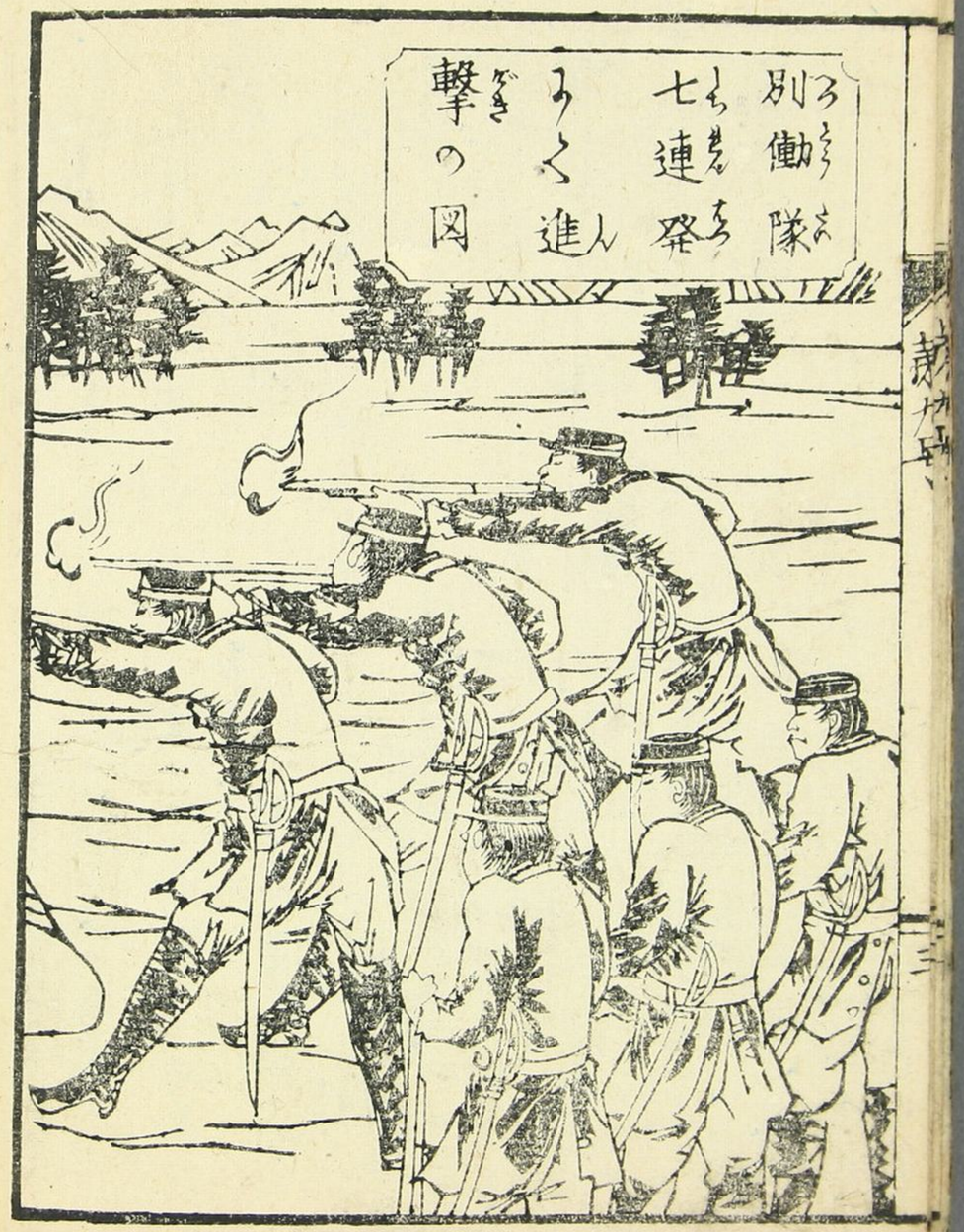
A429
9
010190510161
48-7885

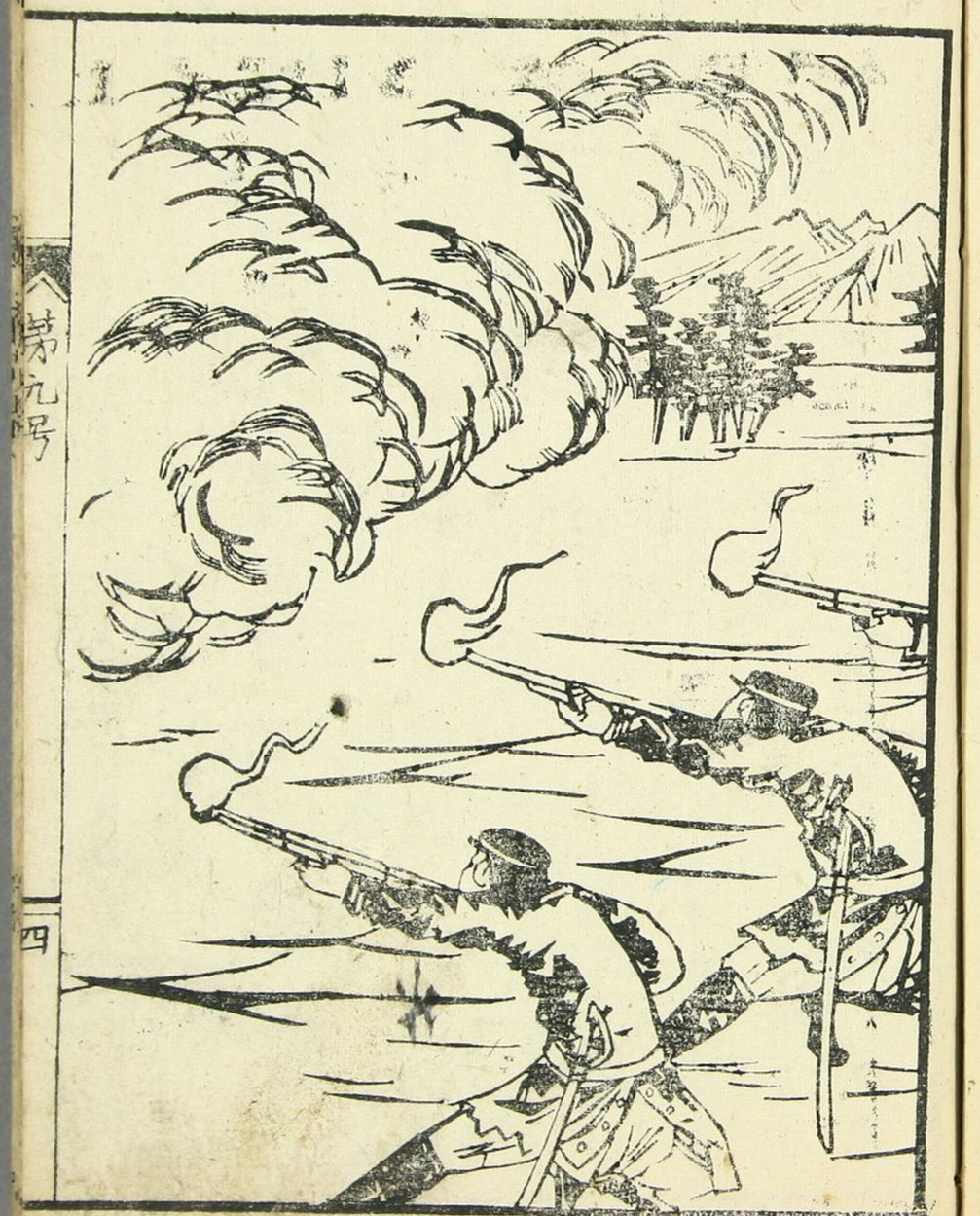
賊等徒
よ立木
抜と切
慰む図



去ル二月廿七日兵火のため焼失しる熊本の人民へお救米とぐさ賊将西郷隆盛ハをりく陣中を見まり巡査の抜刀隊ハ其名をきゝ高島大佐へ評判よく少将よ任ぜられ賊方よも篠原国幹打死桐野利秋手負後号今ぞうぎ賊休戦の日ゟ頻と立木などを切ひらたくり随分剣道ゟへ達者ありとゆへ銃器弾薬ぐしくありるゆや木銃をこらくるるふ風説もなり四月五日のゟゝせ今暁山鹿ぐちへ進ぐた勝利田島と落し島のまゝ突ゟ同所をかゝ八代へゟ

別働隊ハ七連発の元込銃ゟてちげしく打出し同所へ官軍追々ゟり出し場所廣き中人数千の兵隊くも不足ゟり兵士の出張を申来ゟり長崎の川村参軍ハ高雄丸と竜驤丸とゟりふ宇土へ廻らしと今月四日午前五時ゟり賊ハ不意よ片足駄村の官兵の陣所へ押寄せ烈しく砲発しゟる中人官軍直よ進撃し激戦よゟ又夜ゟけハ霧深くして一寸さゟも見ゟけぐく此時ハ官軍ぐさ死人怪我人も四十四人なり賊の隊長村田正信ゟのゟ数人生ぐり死骸三十人手負数ゟ官軍方の


別働隊
七連発
すゝん進
撃の図



将帥ハ谷少将なり賊の兵粮米ハ百俵と銃器百余を分捕したり同十一日教導團の歩兵一大隊ハ神奈川丸なく今朝四時神戸港を出帆し東京鎮臺後備歩兵第一大隊ハ敦賀丸なて八時ゟ同港を出帆したり又八代の攻戦ハ最初その警備手配のため安田權大書記を出しなる処賊あらかじめ襲ひ来り城下三方より逼り少勢の官軍なて防戦し五六時に亦て終ゟ賊をフルモトへ追ちひ続いて岡沢中佐ゟ援隊をさし出し一拳ゟして小川辺まで打退け賊敗走なし同士ちるどして混乱狼狽

し四方へ逃走なしなる死傷生捕ハ今月八日熊本篭城の兵を一大隊奥小佐ゟ率ひく賊中辛くも貫ぬき宇土の本営ゟ米着城中の模様を具さに物語りいまだ兵粮なハ差迫ハあけ共一時も早く連絡をを肝要なりと共ゟ盡力とをを申合せり木の葉ゟハ今朝ダイノチウ隈府口を攻撃し同所を乗ッとり賊ハ大津へ走りなると又木の葉のもとゟせよハ鳥尾中将ハ今日着しなり此日木留へ進撃せし山鹿の口の一手ハ石川口ゟたゝひ勝利賊ハ敗走しなクノ辺の賊と合し

奥少佐
賊軍旅
貫き宇土
の本営ま
来る図

ミナタシマと襲いんとする人尚あとと戦ひ木の
葉い今日木留より遠田野村へ屯集する賊を砲
撃まとど賊退うぞ今よ砲撃さうあり又山鹿
の方面の官軍ハ鳥の巣の賊を攻撃しなれども
いまだ勝負決せず同日夜の知らせよ山鹿口隈府
を乗取り八代口ハ休戦となり十二日の戦争よ
賊将淵辺別府等の率ひたる新兵い八代城下よ
三方より襲ひ来りし官兵奮戦激勇しき古
本まで追払ひ猶援兵来りし少一挙し進撃ま賊
へ狼狽して大敗北とあり又賊ハ最初十分よ金を

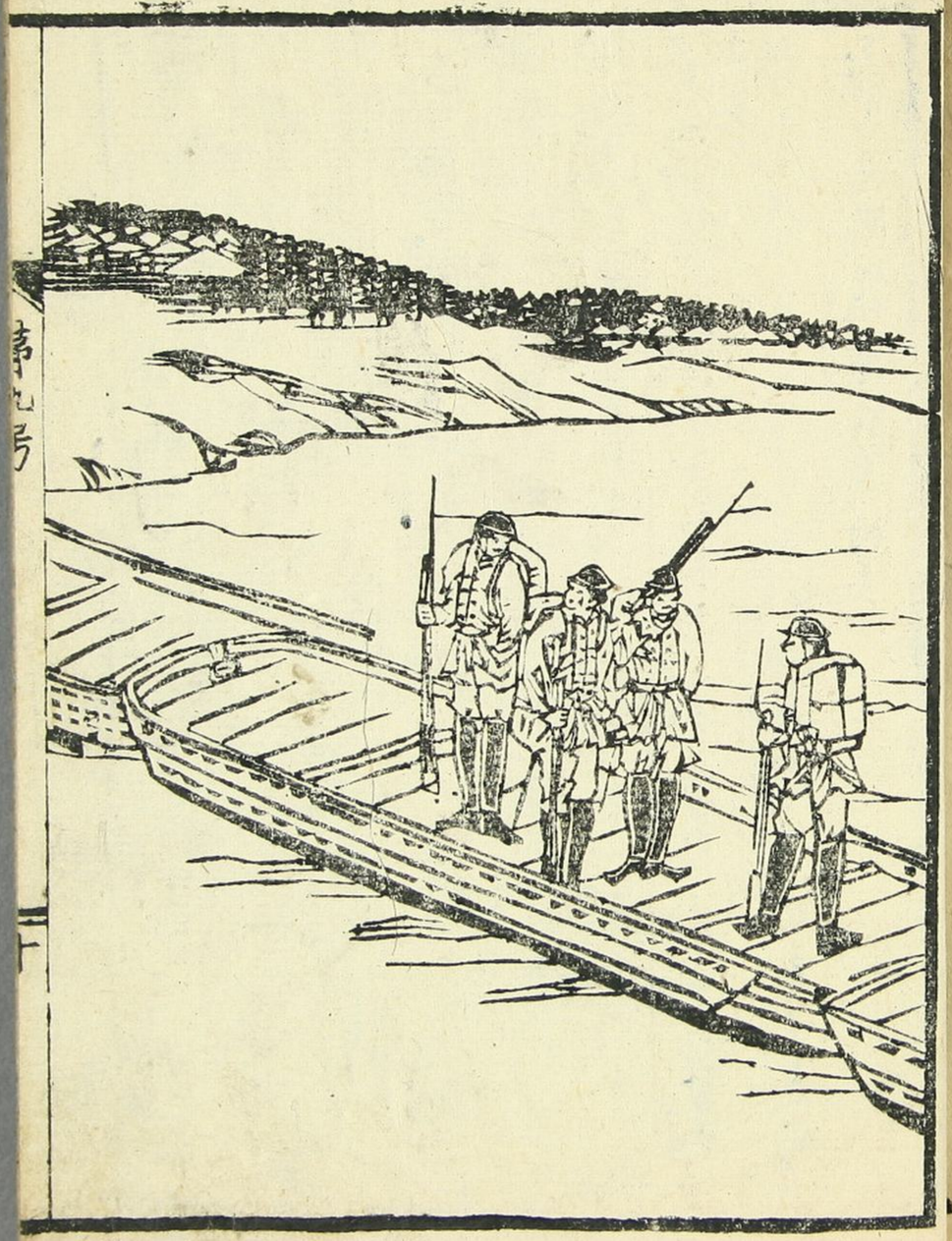
つひ貧窮人よ金と呉ーザ近頃ハ通用札を持へ又買
物をーとを平定のら人申出ろとひ婦人を強衣
まるその多分なる人望をうーのひ なるそ今
月二日よ大津へ向ざしし巡査刀槍隊う賊墨へ
切込うのるたい一声の号令とるの賊を三十人
まうう切殺ー其勢ひよ乗ド切立突さて追崩ー百人
余の賊兵と散々よ打ちーなるハ開戦後目覚ー
うー戦ひと感賞ーなりるる熊本城内の谷少
将ハ薄手を負ーるとあり四月十三日の報よ
山田少将の手ろて船橋をかけて渉りまる川路

刀槍隊
奮勇突
戦の図

少将の生　まく御船を切り出ル又去ル八日熊本
城の兵ゞ突出し一大隊午前三時ゟ城内で
整列して城を出繁の内橋を渡り通り町
へ出て中をどう右へ曲り安政橋の川上を歩渉
り後ゟ橋の両側ゟ賊ゞ屯集せ一人のあり
城兵ハ此の賊ゟ當ッて突き出し奥少佐の手
の一大隊ハ其虚ゟ乗し中牟田村六ケ村御船
街道を過ぎ緑川と歩ッて隈の庄ゟ官軍の
偵察兵ゟ出ひ是ゟ櫻山ゟ添ッて宇土へ着し賊
を十二人生どり臺兵の死傷ハ三人となり又大分縣

ゟ今日午前六時ゟ警視隊ハ阪梨の嶺へ進む
九時ゟ激戦あり抜刀ゟて切入り賊悪ハケ所とり
弾薬兵粮を分捕し賊を追ッて内のボウチウゟ
まく賊ハ死骸十四五人をもて遁走し警
視隊の即死ハ二人傷を受し者十人餘り有りそ
さて先日長崎を発せし島津公御子息珍彦君と
忠欽君ハ今月九日ゟ神戸へ着され十日ゟ西京
木屋町三十一番地へ旅宿ゞ極り附属ハ島津家
の家今内田正風有村国彦山本孫四郎従者ハ橋
口千次倉内十次郎窪田孫助犬茂武助橋口半

山田少將
船橋を架
て川尻川を
渡る図



五郎・川嵜宗次郎の面々ハそれぞれ直江二級検事
補ハ鹿児島縣裁判所と命ぜらる
○此よ又福岡縣下の士族田舎新聞の社長増
田宗太郎・櫻井貫一郎・梅谷安郎・其外巨魁とな
り大勢を集め支廳裁判所警察所をかこみ公廨を
焼き公金をうばひ縣官を殺し廳下にせまりて火
をかけ所々を乱暴なしけるゆへ夫々にとり締
り致せしかども右等の者どもハ大阪表へ
散乱するもそれぞれに取締りのかど是あり
たくとの通達なりける

官許 朝鮮名法 牛肉丸

小袋 六戔二厘五毛
中袋 十二戔五厘
大袋 二十五戔

一 此くすり男女にかぎらず [illegible]

[illegible] 子なき女この薬を用ひ [illegible]

[illegible] 男女一切のびやうき [illegible]

書物錦繪店 東京横山町三丁目二番地 辻岡屋文助